

令和7年度八女筑後医師会在宅医療連携研修会

耳からはじめる介護・認知症予防への取り組み

～加齢性難聴の早期発見とヒアリングフレイル対策～

日時

令和7年7月11日(金)

19:00～20:00 (受付18:30～)

会場

八女筑後医師会講堂 (会場/ZOOM:ハイブリッド開催)
八女市本村656-1

講師紹介 中石 真一路 (ヒアリングフレイル提唱者)



ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 取締役 ファウンダー
聴脳科学総合研究所 所長

全国の医学系の学会や医師会、看護協会、言語聴覚士会、ケアマネや市の職員はもちろん市民公開講座などで「難聴高齢者との意思疎通支援方法」を中心に講演活動を行う。4年で計500回以上の講演実績、延べ15,000人以上が聴講した人気聴覚研究者です。



ヒアリングフレイル

ヒアリングフレイルとは「老化による聴覚機能の衰え」つまり、老人性難聴を意味するとともに、難聴によって周囲の関わり合いが大きく変化し、フレイルに陥ることも含んでいます。この状態を放置すると、その他のフレイルと同様に心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ病となるリスクが高まることが懸念されています。

これって耳かも...



【問い合わせ先】 八女筑後医師会在宅医療介護連携室 0943-30-3331

【申し込み方法】 裏面の申し込み用紙を0943-30-3332 までFAXして下さい。
ZOOM参加ご希望の方は、renkeiminai@mx7.tiki.ne.jp までメールを下さい。
後日、IDパスコードを送らせていただきます。

主催：八女筑後医師会 福岡県在宅医療提供体制充実強化事業
共催：八女筑後看護専門学校

講師紹介



聴脳科学総合研究所
Laboratory of Hearing Cognition

聴脳科学総合研究所所長（保健医療学修士）
国際医療福祉大学大学院修士課程修了
山形県地域包括ケアサポートセンター等協議会アドバイザー



1973年東京都生まれ熊本県育ち。前職の大手レコード会社であるEMIミュージックで、スピーカーによる難聴者支援の研究に従事。退職後ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立。約3年に亘る研究の末、卓上型対話支援システム「コミュニケーション」を発明。話者側による難聴者支援「対話支援法」の第一人者。現在は、聴脳科学総合研究所所長として高精細音響が人体に与える影響や聴覚リハビリテーションに関する研究を行う。聴力低下によるフレイルに関する研究を2016年よりスタートし、2019年に認知症検査における聴力低下による過小評価を厚生労働省に報告。ヒアリングフレイル提唱者として、難聴と認知症の関連性や聞こえの理解、啓発を進めている。

令和7年度八女筑後医師会在宅医療連携研修会 「耳からはじめる介護・認知症予防への取り組み」

申し込み用紙

参加方法 会場 ・ ZOOM

氏名：

職種：

所属：

連絡先電話番号：

メールアドレス：

ZOOM参加の方は、メールをいただくか、メールアドレスをご記入ください。
後日、ID、パスコードを送らせていただきます。

FAX : 0943-30-3332

メール : renkeiminami@mx7.tiki.ne.jp